



サイトの追加と削除

- [Cisco MSO と APIC 相互運用性サポート \(1 ページ\)](#)
- [Cisco APIC サイトを追加 \(2 ページ\)](#)
- [サイトの削除 \(6 ページ\)](#)
- [ファブリック コントローラへの相互起動 \(8 ページ\)](#)

Cisco MSO と APIC 相互運用性サポート

Cisco マルチサイト Orchestrator (MSO) では、すべてのサイトで特定のバージョンの APIC を実行する必要はありません。それぞれのファブリックで APIC のリリース 3.2 (6) 以降が実行されている場合は、各サイトの APIC クラスターと MSO それ自体は相互に独立してアップグレードすることができ、それらは混合動作モードで実行できます。そのため、常にマルチサイト Orchestrator の最新リリースにアップグレードしておくことをお勧めします。

ただし、1つまたは複数のサイトで APIC クラスターをアップグレードする前に MSO をアップグレードすると、新しい MSO の機能の一部が、以前の APIC リリースでまだサポートされていないという状況が生じ得ることに注意してください。この場合、各テンプレートでチェックが実行され、すべての設定済みオプションがターゲットサイトでサポートされていることを確認します。

このチェックは、テンプレートを保存するか、テンプレートを展開するときに実行されます。テンプレートがすでにサイトに割り当てられている場合、サポートされていない設定オプションは保存されません。テンプレートがまだ割り当てられていない場合は、サイトに割り当てることができますが、サイトがサポートしていない設定が含まれている場合は、スキーマを保存したり展開したりすることはできません。

サポートされていない設定が検出されると、エラーメッセージが表示されます。例: この APIC サイトバージョン<site version>は、MSO ではサポートされていません。この<feature>に必要な最小バージョンは<required-version>以降です。

次の表に、各機能と、それぞれに必要な最小限の APIC リリースを示します。



(注) 次の機能の一部は、以前の Cisco APIC リリースでサポートされていますが、Nexus ダッシュボードにオンボードし、このリリースのマルチサイト Orchestrator で管理できる最も古いリリースは、リリース 4.2(4) です。

機能	最小バージョン
ACI マルチポッドのサポート	リリース 4.2(4)
サービス グラフ (L4~L7 サービス)	リリース 4.2(4)
外部 EPG	リリース 4.2(4)
ACI 仮想エッジ VMM のサポート	リリース 4.2(4)
DHCP Support	リリース 4.2(4)
整合性チェッカー	リリース 4.2(4)
vzAny	リリース 4.2(4)
ホストベースのルーティング	リリース 4.2(4)
CloudSec 暗号化	リリース 4.2(4)
レイヤ 3 マルチキャスト	リリース 4.2(4)
OSPF の MD5 認証	リリース 4.2(4)
EPG 優先グループ	リリース 4.2(4)
サイト内 L3Out	リリース 4.2(4)

Cisco APIC サイトを追加

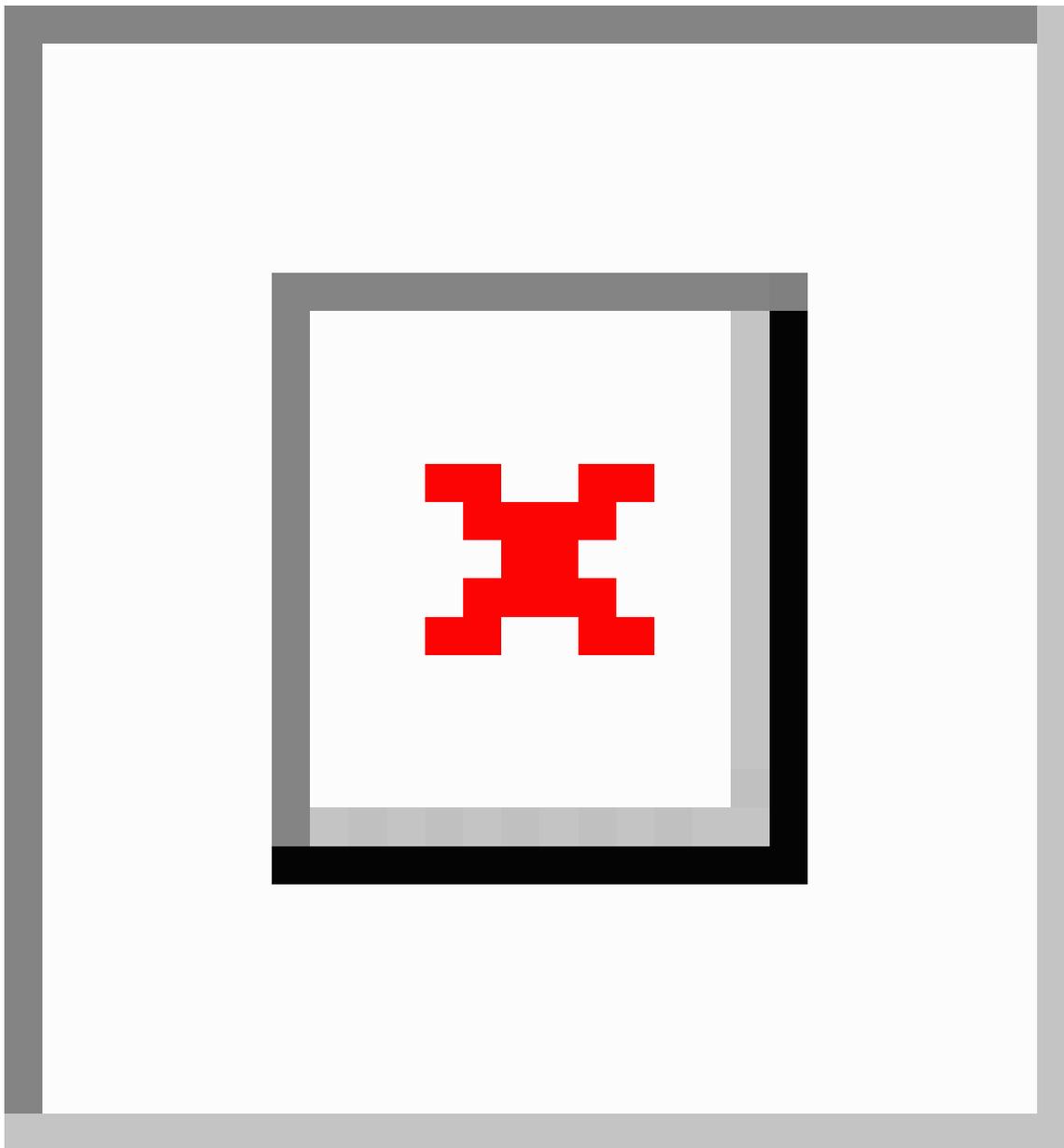
ここでは、Nexus Dashboard GUI を使用して Cisco APIC サイトを追加し、そのサイトを マルチサイト オーケストレータ で管理できるようにする方法について説明します。

始める前に

- この章の前のセクションで説明したように、各サイトの APIC でサイト固有の構成を完了している必要があります。
- 追加するサイトが Cisco APIC、リリース 4.2 (4) 以降を実行していることを確認する必要があります。

ステップ1 Nexus ダッシュボード GUI にログインします。

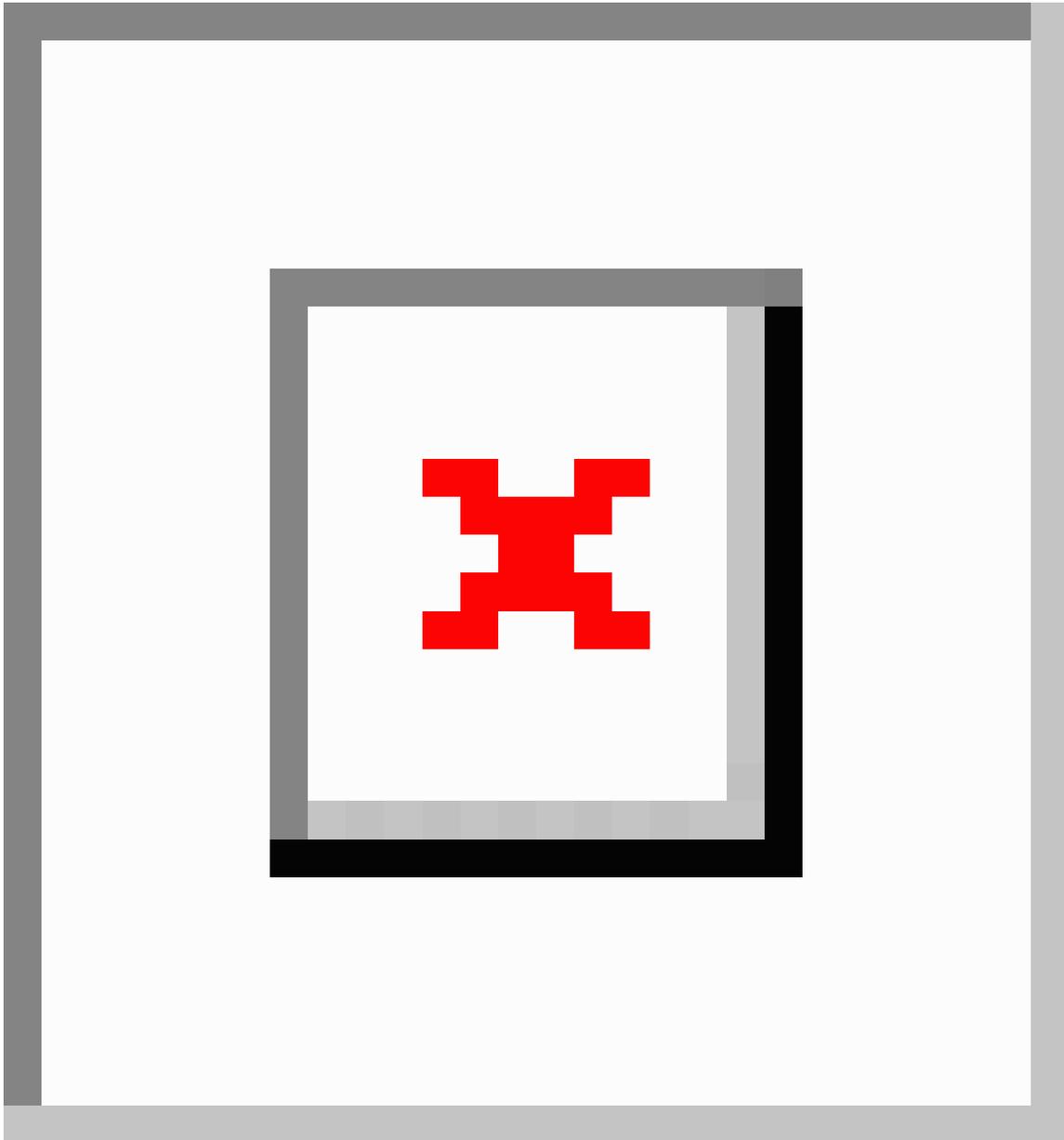
ステップ2 新サイトを追加します。



a) 左のナビゲーションメニューから [サイト (Sites)] を選択します。

b) メインペインの右上にある [アクション (Actions)] > [サイトの追加 (Add Site)] をクリックします。

ステップ3 サイト情報を入力します。



- a) [サイトのタイプ (Site Type)] で、**ACI** を選択します。
- b) APIC コントローラ情報を入力します。

ACI ファブリックを現在管理している APIC コントローラについて、[ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)]、[ユーザー名 (User Name)]、および [パスワード (Password)] を入力する必要があります。用です。

このサイトを Nexus インサイトなどのデイ 2 オペレーションアプリケーションで使用する場合は、追加する Nexus ダッシュボードをファブリックに接続するために使用する **インバンド EPG** 名も指定する必要があります。それ以外の場合、このサイトをマルチサイト オーケストレータでのみ使用する場合は、このフィールドを空白のままにすることができます。

c) **[追加 (Add)]** をクリックして、サイトの追加を終了します。

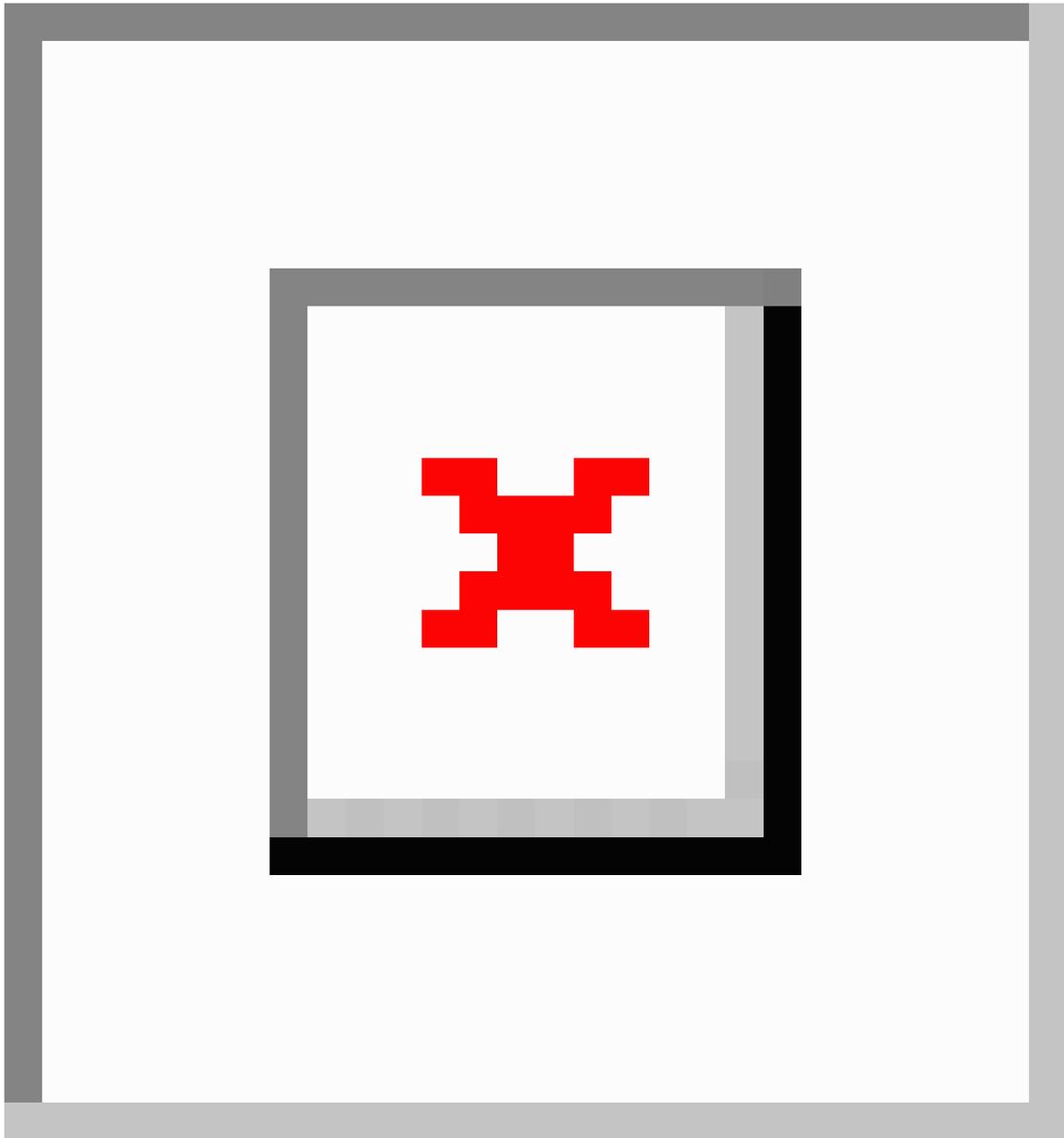
この時点で、サイトは Nexus ダッシュボードで使用できるようになりますが、次の手順で説明するように、マルチサイト オーケストレータの管理用にそれらのサイトを有効にする必要があります。

ステップ 4 他の APIC サイトに対して上記の手順を繰り返します。

ステップ 5 Nexus ダッシュボードの **[サービス カタログ (Service Catalog)]** から、マルチサイト オーケストレータ アプリケーションを開きます。

Nexus ダッシュボード ユーザーのクレデンシャルを使用して自動的にログインします。

ステップ 6 マルチサイト オーケストレータ GUI で、サイトを有効にします。



- a) 左のナビゲーションメニューから、[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [サイト (Sites)] を選択します。
 - b) メインペインで、MSO で管理する各ファブリックの [状態 (State)] を [非管理対象 (Unmanaged)] から [管理対象 (Managed)] に変更します。
-

サイトの削除

ここでは、マルチサイト オーケストレータ GUI を使用して 1 つ以上のサイトのサイト管理を無効にする方法について説明します。サイトは Nexus ダッシュボードに残ります。

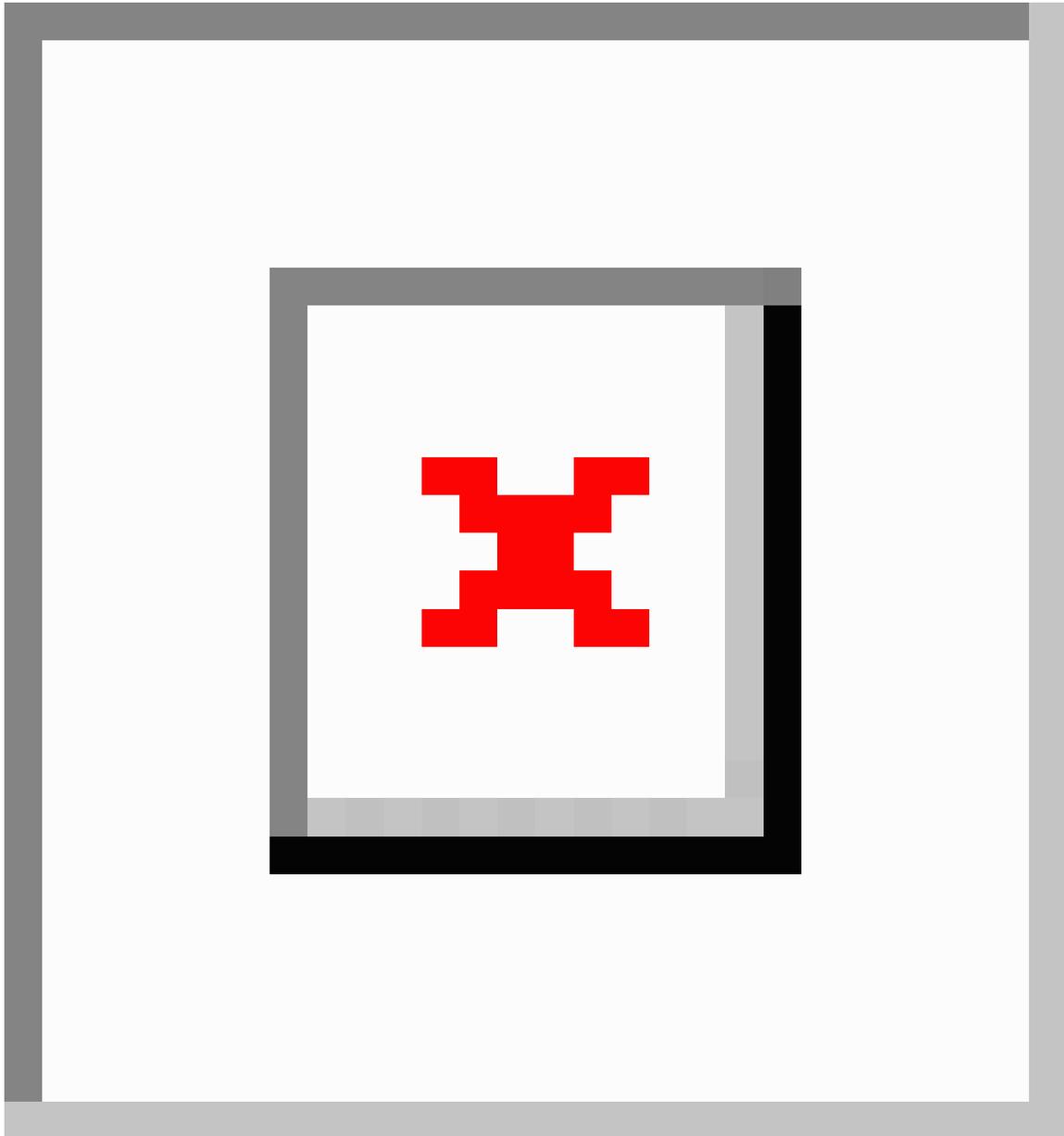
始める前に

削除するサイトに関連付けられているすべてのテンプレートが展開されていないことを確認する必要があります。

ステップ 1 マルチサイト オーケストレータ GUI を開きます。

Nexus ダッシュボードの **サービス カタログ** から MSO アプリケーションを開きます。Nexus ダッシュボード ユーザーのクレデンシャルを使用して自動的にログインします。

ステップ 2 マルチサイト オーケストレータ GUI 内でサイトを無効化。



- a) 左のナビゲーションメニューから、[インフラストラクチャ (Infrastructure)]>[サイト (Sites)]を選択します。
- b) メインペインで、MSOで管理する各ファブリックの[状態 (State)]を[管理対象 (Managed)]から[非管理対象 (Unmanaged)]に変更します。

(注) サイトが1つ以上の展開済みテンプレートに関連付けられている場合、それらのテンプレートを展開解除するまで、その状態を[非管理対象 (Unmanaged)]に変更することはできません。

ファブリックコントローラへの相互起動

マルチサイトオーケストレータは現在、ファブリックのタイプごとに多数の設定オプションをサポートしています。追加の多くの設定オプションでは、ファブリックのコントローラに直接ログインする必要があります。

MSOの[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [サイト (Sites)]画面から特定のサイトコントローラのGUIにクロス起動するには、サイトの横にあるアクション (...) メニューを選択し、ユーザーインターフェイスで [開く (Open)] をクリックします。クロス起動は、ファブリックのアウトオブバンド (OOB) 管理IPで動作することに注意してください。

Nexus Dashboardとファブリックがリモートユーザー認証のために構成されている場合、Nexus Dashboardユーザーと同じログイン情報を使用して、ファブリックのコントローラに自動的にログインします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。